

計画事業番号	00286	事務事業名	きたひろしま30kmロードレース連携事業	担当部署	教育部社会教育課	電話	4843
--------	-------	-------	----------------------	------	----------	----	------

【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	根拠法令等	-				
事務事業開始年度	平成22年度	個別計画等	北広島市教育基本計画 2011-2020				
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 2 章)	人と文化を育むまち
	(第 8 節)	スポーツ活動の推進
	(施策 1)	健康で生きがいのあるスポーツ活動の促進
2 対象	市民、全国及び全道からの参加者	
3 目的と内容	健康で生きがいのあるスポーツ活動の促進を図るためにきたひろしま30kmロードレースを開催する実行委員会と連携する。	
4 実施内容 (手段)	28年度まで	完走したランナーに市内企業が製造した記念品を進呈した。
	29年度	完走したランナーに市内企業が製造した記念品を進呈する。 コース警備業務の一部を委託する。

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
きたひろしま30kmロードレース実行委員会への支援	完走したランナーに記念品を進呈 きたひろしま30kmロードレース実行委員会への支援	きたひろしま30kmロードレース実行委員会への支援 ・参加記念品の提供 ・業務委託	きたひろしま30kmロードレース実行委員会への支援 ・参加記念品の提供 ・業務委託	きたひろしま30kmロードレース実行委員会への支援 ・参加記念品の提供 ・業務委託	きたひろしま30kmロードレース実行委員会への支援 ・参加記念品の提供 ・業務委託	きたひろしま30kmロードレース実行委員会への支援 ・参加記念品の提供 ・業務委託	きたひろしま30kmロードレース実行委員会への支援 ・参加記念品の提供 ・業務委託

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。		
1次評価	現状継続	大会運営方法等を見直すことで、より効果的・効率的な大会開催をめざす。		
2次評価	現状継続	現状継続とする。		

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			300		716		1,000		1,000	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	0		716		0		0	
		一般財源	300		0		1,000		1,000	
	① 合計	300		716		1,000		1,000		
額	人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.32	0.00	0.32	0.00	0.32	0.00	0.32	0.00
		③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500
		④ =②×③	2,688	0	2,688	0	2,688	0	2,688	0
総事業費①+④			2,988		3,404		3,688		3,688	

【評価指標】

指標名			単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	①参加人数	目標値	人	1,400	1,400	1,400	1,400
		実績値		1,348			
	②	目標値					
		実績値					
③	目標値						
	実績値						
④	目標値						
	実績値						
成果指標	① 参加人数の増加率	目標値	%	100	0	0	0
		実績値		92			
	②	目標値					
		【指標の定義(算式等)】	実績値				
③	目標値						
	【指標の定義(算式等)】	実績値					

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	健康志向の高まりにより、ランナーが増加する中、市民等の練習の成果を活かす場の提供は必要である。また、全道・全国から多くの参加者もあり、本市のPRの場につながることから行政の関与は妥当である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	2	参加者は横ばいとなっているが、大会運営等の改善やリピーターの参加により、参加者の満足度も高いため、概ね成果があがっている。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	実行委員会との連携強化や大会運営の改善など大会全体の成果向上に向けた改善の余地はある。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	2	安全安心な大会運営とするため、参加料の見直しを行いました、スポーツボランティア育成などを通じ大会運営の改善の余地はある。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	--